

災害時の対応について（津波避難ビル）

科学館は H23 に避難指定ビル指定されており、閉館時は一時休止としていたが、リニューアルオープンに伴い危機管理室より再指定されるため下記のとおり運用する。

- ・避難場所 5 階 多目的ルーム（面積 120 m²）
- ・受入条件 科学館開館中で大津波警報、津波警報または洪水警報（レベル 4）発令時
- ・受入人数 約 75 名（1 人あたり 1.6 m²）
- ・時 間 休館日を除く午前 9 時 30 分から午後 5 時 00 分
休館日とは、毎週水曜日（休日の場合は翌平日）、12 月 29 日～1 月 3 日及び大阪市下水道科学館が定める「気象警報等発令時の臨時休館基準」に該当し終日休館とした場合とする。
- ・避難経路 外階段より 3 階へのぼり館内へ、中階段を使用し、5 階多目的ルームへ
※図面参照
- ・物損保障 大津波警報発令時かつ避難所としての使用による損傷の場合、保障対象となる（ただし、故意による場合は対象外）。

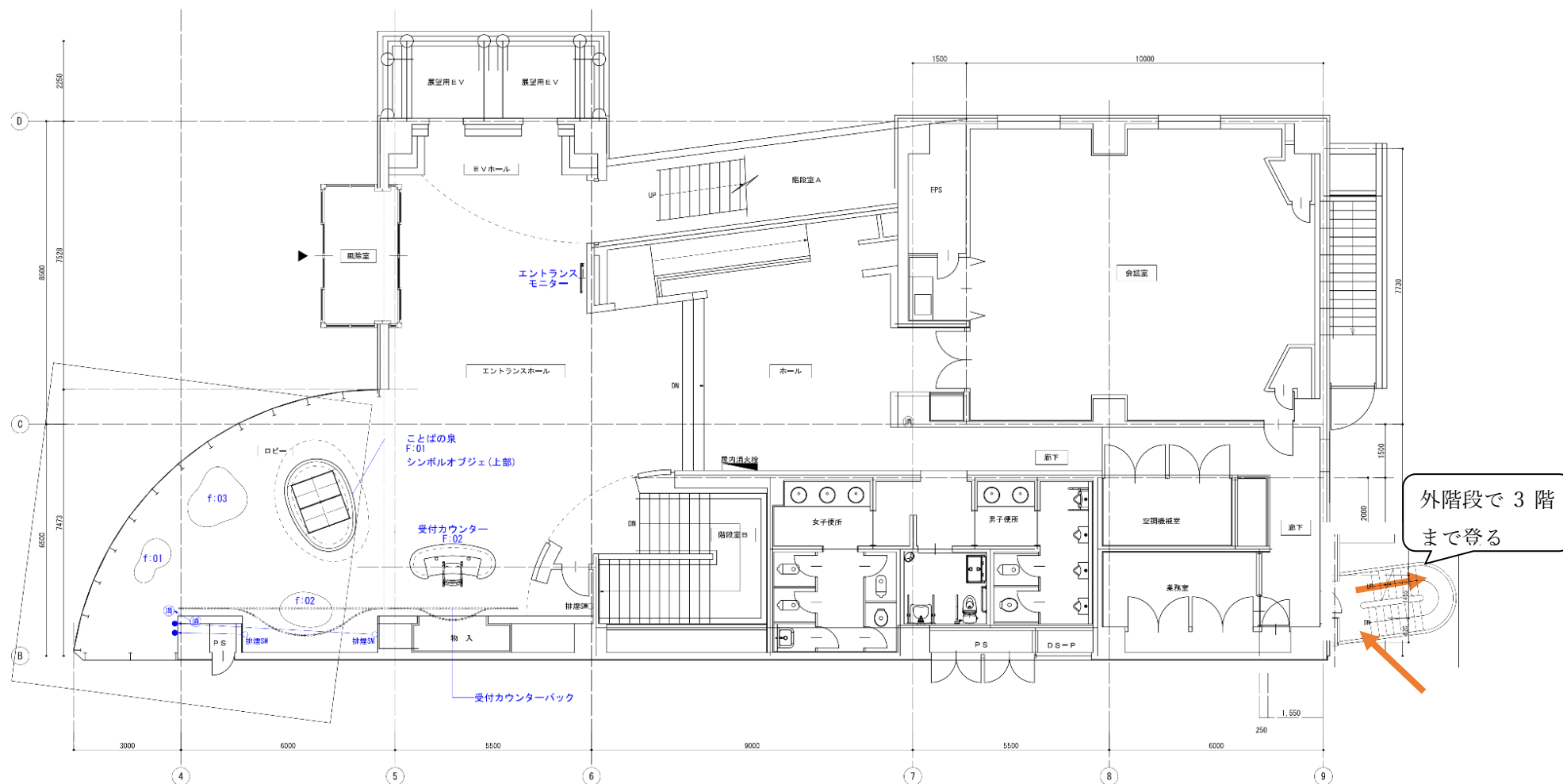
科学館スタッフの対応方法について

市民が避難できるよう受け入れ態勢を整えた後の対応は不要。

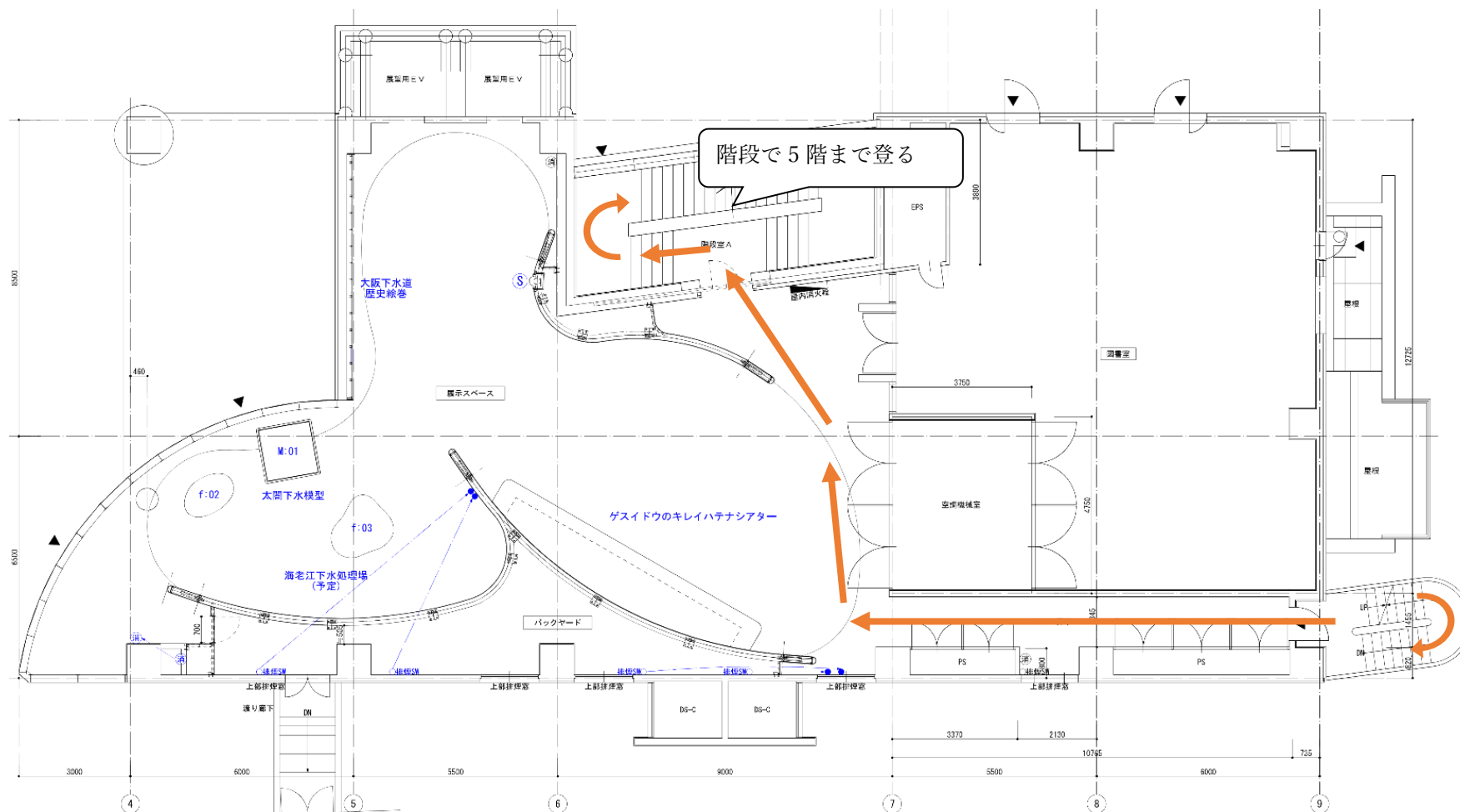
- ① 建築物安全確認
安全確認カルテ（作成中）による一次判定の実施
- ② 警報発令及び安全確認後の受け入れ態勢の準備
1 階自動ドアの施錠（閉館準備）
5 階多目的ルーム及び 3 階裏口の開錠
基本的に 1 階自動ドアは閉鎖しているため裏階段への誘導（立て看板等）
- ③ 立入禁止箇所の措置（1・2 階と展示スペースは立入禁止にする）
- ④ 受け入れ態勢の作業終了後、科学館の危機管理マニュアル等に従い待機及び避難
- ⑤ 大阪市（調整課）までメールもしくは電話にて避難ビル運用開始の報告（可能であれば）

※科学館はあくまでも避難所へ行けない方の一時避難場所であり、備蓄や食料もないので、移動可能な状態になれば付近の避難所へ行ってもらふこと。

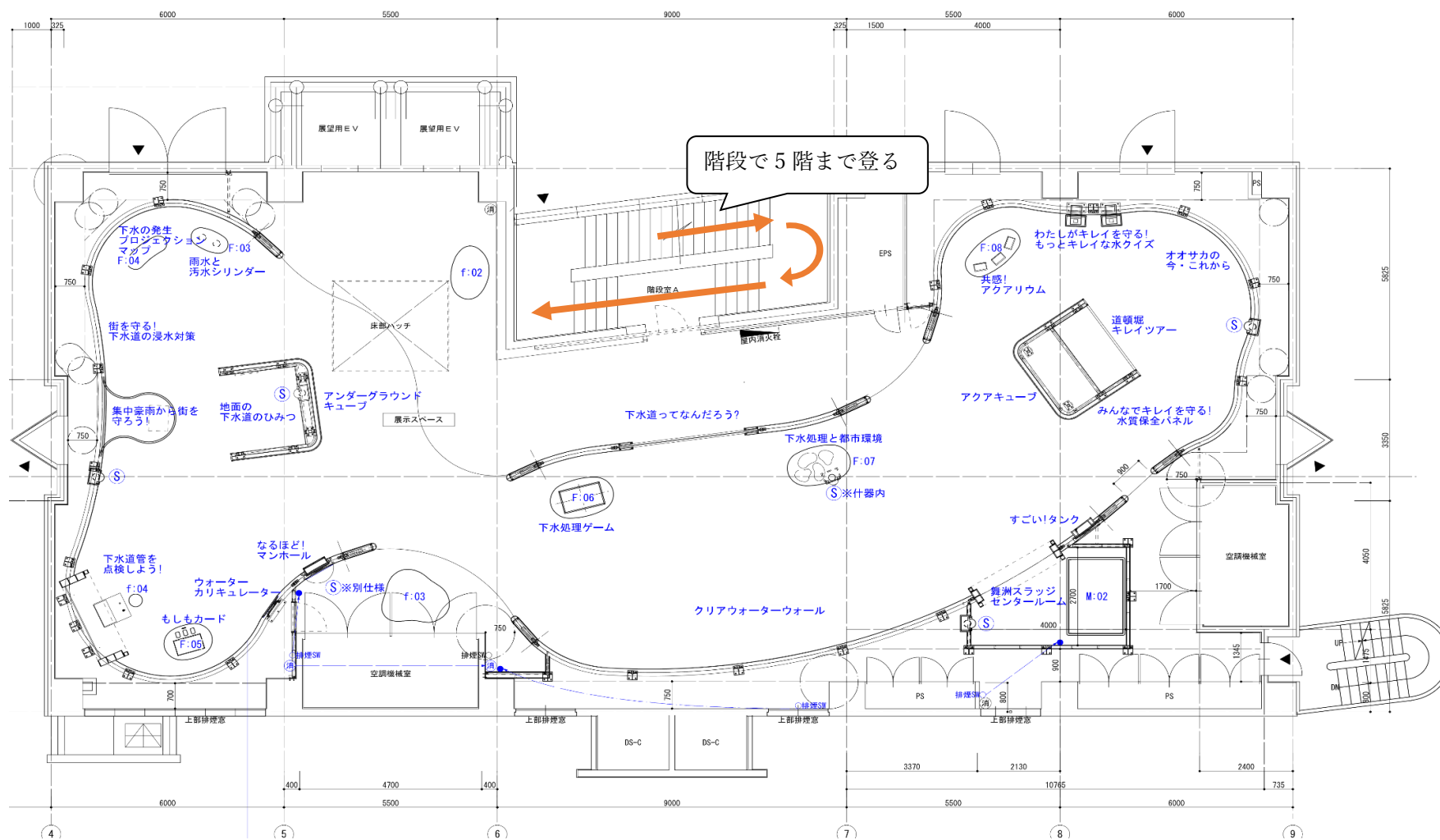
下水道科学館 1 階平面図



下水道科学館 3 階平面図



下水道科学館 4 階平面図



下水道科学館 5 階平面図

